

第 219 回競技委員会議事録

1. 日 時：2012 年 10 月 3 日（水）18 時 00 分～21 時 00 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 11（内委任状 3）、欠席 1 で成立。

寺本直志委員長、斉藤千鶴乃、山後秀幸、西田博、古田一雄、

正村祐一、山菅昭夫、仲村篤志

以下委任状：佐々部君敏、林伸之、田中陵華

欠 席：西田奈津子

オブザーバー：鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長とし議事を逐一審議した。

第 1 号議案 SP の計算方法に関する報告

- (1) IMP に関するワーキンググループによる検討の結果をもとに前回検討の式に改良を加えた資料が提出された。
- (2) 検討の結果下記の式を新しい SP の計算式とし 12 月の SP より採用することとした。
 1. 過去 1 年間の MP の 1/2 か過去 5 年間の MP*の 1/4 の多い方と過去 1 年間の RP か過去 10 年間の RP*の 1/3 の多い方の合計
 2. 現在の RP の 5%（上限 400 点）
 - * 過去 10 年間の RP は 0.7 の(n-1)乗 n=年数
 - * 過去 5 年間の BP は 1/n n=年数
- (3) みなし SP については MP1000～5000 を SP150 相当、MP5000 以上を SP400 相当とすることとした。

第 2 号議案 IMP シード制限とシニア優遇制度についての報告

- (1) 新 SP の計算が前年度の実績により計算されるため、シニアの SP 優遇制度について段階的に撤廃することを方針とすることを決定した。
- (2) 経過措置としてシニアの SP 優遇措置を下記の通りとする。
 - 1) 1 チームにつき 1 名までとする。
 - 2) 優遇 SP は実際の 1/3（端数は切り捨て）とするが上限は設けない。
- (3) 経過措置は 2 年とする。
- (4) リーグ編成および SP による参加制限は現状を維持する。
- (5) 個人の SP の上限を 300 を改め 400 とする。
- (6) 1 年後に新たためて各主催者の意見を聞きシニアの SP 優遇制度を含めて再検討する。

第 3 号議案 WBF 新 VP スケールについて

- (1) 事務局より WBF が新しい VP スケールの作成を行っていることが報告された。新しい VP スケールの特徴は以下の通り。
 - 1) 20 点満点
 - 2) 小数点以下二桁まであり、IIMP も必ず評価される。
 - 3) 1 ボード単位で VP スケールが変化する（VP スケールが計算できる）
- (2) まだ新しい VP スケールは確定されていないが、JTOS で確定次第対応の予定であることが事務局より報告された。
- (3) 手計算による集計を行っている競技会に配慮をするべきであることが確認された。

第 4 号議案 クラブディレクター承認の報告

- (1) 以下 2 名のクラブディレクターの承認が事務局より報告された。

高野 和生 (C-01012) 東京都

第5号議案 その他議案

- (1) ゲラー氏より事務局に報告のあった EBU のランキング制度が紹介された。
- (2) 地方におけるペア予選のフライト分けについて、予選の参加者は関東のフライト分けに対応したフライトで決勝に参加できることが確認された。ただし下位フライトで参加したペアは決勝で上位フライトを希望することはできない。
- (3) APBF コングレスにおいて予選がグループ分けされた競技会において下記の事項について確認した。
 - 1) 各グループの競争者数に応じて MP が発行されるチーム数が決まること。
 - 2) 決勝に参加できなかったチームの順位は、グループ内の順位ではなく競技者全体から数える、別のグループの同順位はタイ順位で扱うこととした。
 - 3) 今回の福岡大会では、2 グループから 2 チームずつの決勝通過だったので、予選グループ内 3 位のチームは 5-6 位タイとして扱う。

次回競技委員会は 12 月 5 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上